



北川哲雄

現職) 青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授

職歴)

・1981年より野村総合研究所および機関投資家(現在のJPモルガン・アセットマネジメント等)において調査部門に約24年間従事した。調査部門においては主に医薬品・ヘルスケア産業の分析を行った。

・2005年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授に就任。「企業情報開示」、「コーポレート・ガバナンス」、「ESG投資」等の科目を担当。2019年より現職。

・現在の主な社会的活動として国内大手企業、機関投資家、大手監査法人4社で構成される「ESG情報開示研究会」代表幹事、日本経済新聞社主催「統合報告書賞」審査委員長、日本IR協会IR優良企業審査委員長および三菱UFJ信託銀行社外取締役を務めている。また2022年にIFRSに吸収されるまでVRF(Value Reporting Foundation)の理事を務めた。2014年よりICGN会員。

主要編著・著書)

『サステナビリティ情報開示ハンドブック』日本経済新聞社(2023年)

『ESGカオスを超えて』中央経済社(2022年)

『バックキャスト思考とSDGs/ESG投資』(2019年)

『ガバナンス革命の新たなロードマップ』東洋経済新報社(2017年)

『ステュワードシップとコーポレートガバナンス』東洋経済新報社(2015年)

『資本市場ネットワーク論』文真堂(2010年)

『アナリストのための企業分析と資本市場』(2000年)

以上。